



ハイスロットルパイプ 取扱説明書

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号：03 06 0010

適応車種及びフレーム番号

Dio 110 : JF31 1000001~
LEAD 125 : JF45 1000001~
ZOOMER X : JF52 1000001~

～特徴～

スクーター系の車両はスロットルハウジングが小さい為、ハイスロットル化を行うのが困難ですが、このハイスロットルはスロットル巻き取りのカム形状を変化させる事で、純正比約16%のハイスロットル化を実現しています。

アルミ合金製で質感、精度感を向上させています。

スロットルパイプのリップを無くしておりますので、使用出来るグリップの選択が広がります。

スロットルパイプのみの交換パーツですので、簡単に作業を行えます。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

⚠ 注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り適法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

⚠ 警告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

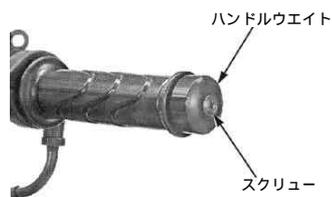
～商品内容～



商品内容	個数
ハイスロットルパイプCOMP.	1

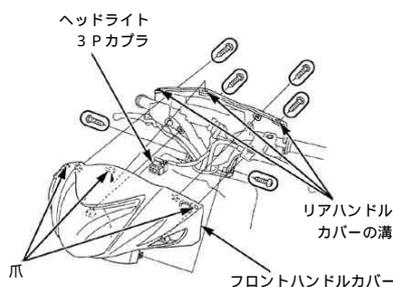
～取 り 付 け 要 領～

スクリーンを外し、ハンドルウエイトをハンドル両端部から取り外します。

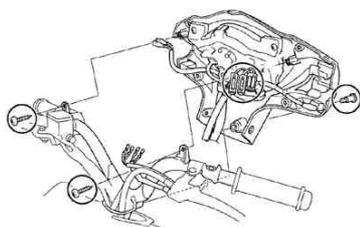


バックミラーを取り外します。

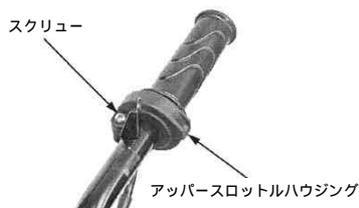
スクリーンを取り外し、爪をリアハンドルカバーの溝から外し、ヘッドライト3Pカブラの接続を外し、フロントハンドルカバーを取り外します。



スクリーン3本を外し、リアハンドルカバーをハンドルバーからずらします。

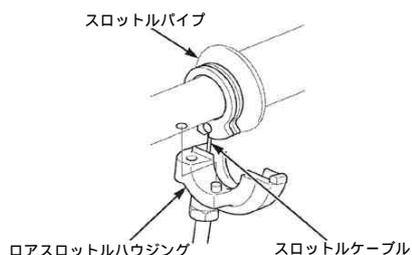


スクリーンを外し、アッパーロットルハウジングを取り外します。



ロットルパイプからロットルケーブルの接続を外します。

ロアロットルハウジングとロットルパイプを取り外します。



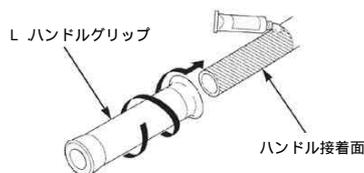
ノーマルのハンドルグリップを使用する場合、ロットルパイプからハンドルグリップを取り外します。

ハンドルグリップ内面、ハンドル接着面の汚れ油脂分を取り除き十分乾燥させます。

接着面にホンダ純正“HONDAボンドA”又は“セメダイン#540”を薄く塗布し、接着面が乾かないうちにグリップを回しながら取り付けます。

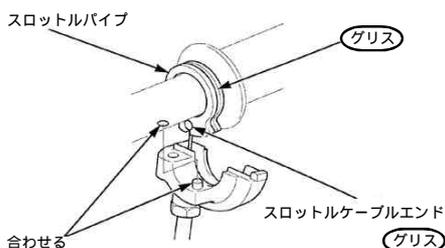
接着剤に添付されている使用説明書に従って、使用する。

グリップ取り付け後、接着剤が乾くまで数時間放置する事。

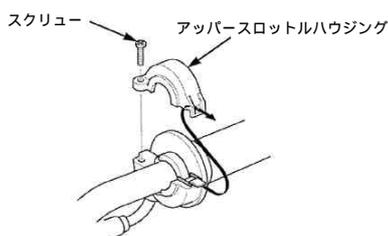


ロットルケーブル巻き取り部にグリスを0.1～0.2g塗布し、ロットルケーブルエンドにもグリスを塗布し、ロットルパイプをハンドルに取り付けます。

ロットルケーブルエンドをロットルパイプに接続し、ロアロットルハウジングの位置決めピンをハンドルの穴に合わせて取り付けます。



爪を溝に合わせてアッパーロットルハウジングを取り付け、スクリーンを取り付け確実に締め付けます。



ロットルグリップを操作し、ハンドルがどの位置にあってもロットルがスムーズに開き、自動的に閉まるか点検します。

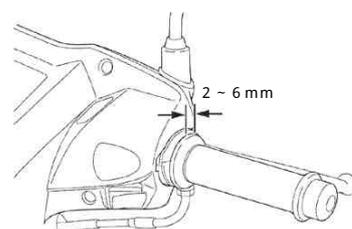
ロットルグリップの作動不良の場合は、ロットルケーブルが正しく通されているか点検し、又、必要ならばロットルケーブルの給油、ロットルハウジングの清掃、給油を行います。

ロットルグリップのフランジ外周部で遊びを測定します。

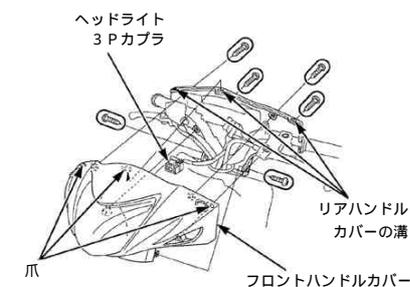
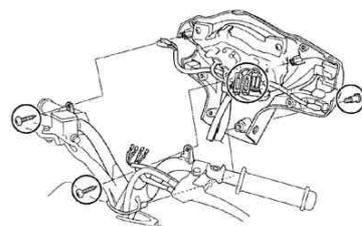
ロットルグリップの遊び：2～6mm

遊びの調整はロットルボディ側で行う。

損傷又は変形したロットルケーブルは、ロットルの制御を損なう原因となるので使用しない事。



取り外しと逆手順でリアハンドルカバー及びフロントハンドルカバーを取り付けます。



バックミラーを取り付けます。

ハンドルウエイト、スクリーン取り付け、スクリーンを確実に締め付けます。

